

# 平成 30 年度 国際理解ワークショップ 進行シート

作成日： 2019 年 2 月 14 日

大学名： 新潟国際情報大学

タイトル： 想像を超えた世界～民族の魅力を探ろう～

メンバー： 齋藤優里愛 五十嵐翠 石本純也 小越花菜

## 1：本ワークショップの要旨

グローバル化が進む現代、様々な文化や人々の交流が活発になっている。

しかし、私たちは日々の暮らしの中で世界のごく一部のことしか見えていない。はたして世界の人たちも私たちと同じように暮らしているのだろうか。

世界の異なる文化や民族を知ることには、発見があふれている！

本ワークショップは、私達がまだ知らない世界に関心を持つ第一歩として、民族の魅力に参加者と共に探る。さあ一緒に私たちの想像を超えた世界へ踏み出そう！

## 2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

本ワークショップは様々な民族の文化を知り体験することで、民族とは何かを考え、自身の持つ文化を見つめなおしてもらいたい。それらを通じて、同一の目的のためであっても、それに対する行動が違うことに気付いてもらいたい。そして、参加者とともに民族の文化の魅力を発見していきたい。

## 3：本トピックをとりあげる理由

わたしたちが生活するうえで、国家ではなく、概念で物事を考えることは多くない。いろいろな民族の生活や文化、考え方を知ることで、自分の中にある概念にとらわれず、より広い世界に目を向けてほしいため。

## 4 : 活動過程

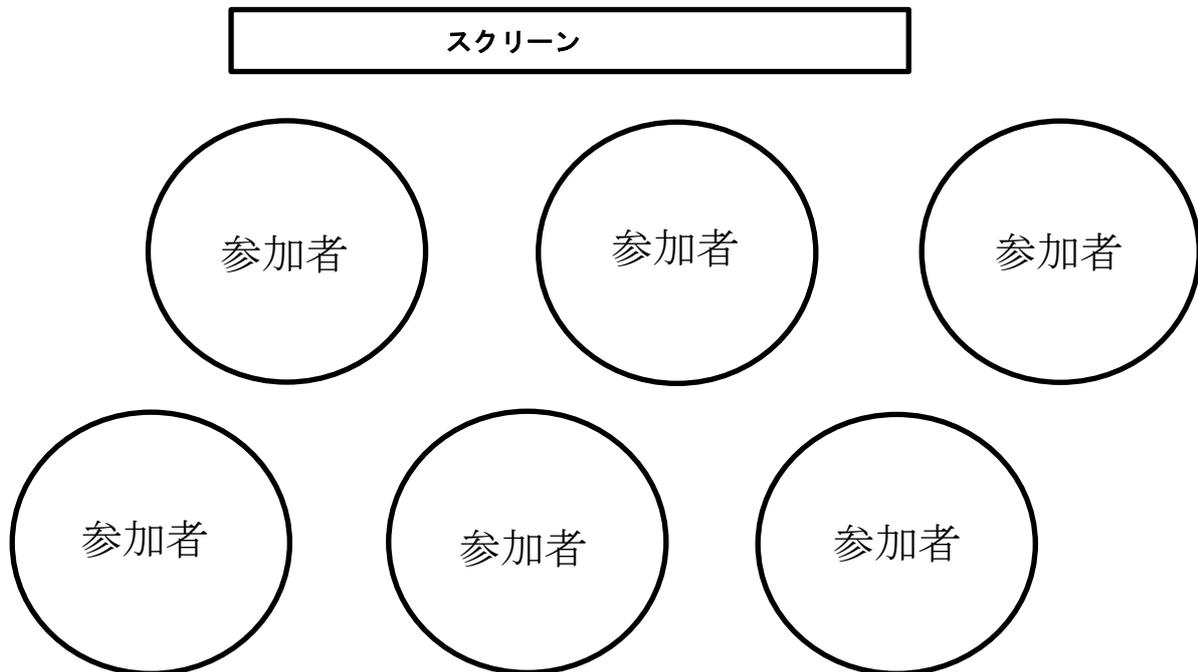
(使用時間 : 90分 参加人数 : 人 )

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反応、 その他注意事項
ワークショップ 前の準備等	ワークショップ の場づくり	プロジェクター等 の機材の設置、スク リーンを見やすい ことに配慮する、色 分けした名札を配 る	使用する教室を ワークショップ に適した空間作 りにする。	プロジェクター スクリーン スピーカー パソコン ポインター 名札シール ストップウォッ チ ベル	
<u>導入</u> : 起 (14分)	挨拶(1分)	挨拶 大学生自己紹介			
	流れ説明(1分)	ワークショップの 概要説明	今回のワークシ ョップの内容を 知る		
	アイスブレイク 「君の名はゲー ム」(5分)	大学生があるもの (動物や人物)にな りきって、参加者が ヒントを出し、大学 生の正体を当てる ゲーム	自己紹介 緊張をほぐす 大学生と参加者 の距離を縮める	お題が書かれた 紙	
	民族のイメージ (2分)	参加者1人1人が持 つ民族のイメージ を紙に書きだして もらう	自分の現段階で の民族のイメー ジを再確認する	イメージを書き 出すための紙 ペン	
	民族のイメージ の全体共有 (1分)	大学生が参加者数 人にイメージを聞 きだす	民族への様々な イメージが存在 するということ を発見する		

	民族の説明 (4分)	示す事項 ・ 民族の形成過程 ・ 国の数・民族の数 ・ 民族の簡単な定義	実際に民族がどのようなものなのかを知ること で、自分の持つ民族のイメージとどこが違ったかを発見する		
<u>発 展 : 承</u> (29分)	クイズ(10分)  話し合い「自分たちの独自の文化は何か？」 (18分)	クイズに出る民族についての説明→クイズ→解説→正解発表 この流れを繰り返す  クイズに出てきた民族の文化を知ったうえで、自分たちの独自の文化は何かを話し合う  クイズに出てきた文化と自分たちが出した文化を比べ、目的が同じでも行動は様々になる場合があるということを示す	民族の文化を楽しみながら知る  自分たちの常識が他の人たちから常識と思われない時があることを知る  民族間で、同じ目的でも行動が様々になる場合があるということを知る	ベル 番号札 スピーカー  模造紙 ペン	
<u>(10分)</u>	休憩(10分)				

<p><u>展開：転</u> (27分)</p>	<p>今までの活動の振り返り(8分)</p> <p>民族(文化)に優劣は無いという説明(1分)</p> <p>話し合い「自分が異なる文化を持つ人と出会った時、どうするか？」(18分)</p>	<p>今までの活動で意外だったこと、驚いたことをポストイットに書く→模造紙上で分類する</p> <p>価値観や考え方は人それぞれで、文化においても正しい価値観や考え方は無いという事を示す</p> <p>自分が異なる文化を持つ人と出会い、その文化に触れた時、どう考えどう行動するかを話し合う</p>	<p>今までの活動や生活の中で無意識的に文化に優劣を付けていることを意識させる</p> <p>文化に優劣は無いという事を知る</p> <p>将来実際に異文化に出会った時の思考や行動を考えてみる</p>	<p>ポストイット 模造紙</p> <p>模造紙 ペン</p>	
<p><u>まとめ：結</u> (3分)</p>	<p>まとめ(3分)</p>	<p>このワークショップの目的を説明する</p> <p>「世界には多くの民族がいて、考え方や文化も様々。その多様性をお互いに認め合うことで自分や相手の魅力にも気付くことが出来る。このWSをきっかけに、将来異文化と接した時にこのWSを頭の片隅に置いてもらえると嬉しい。」</p>	<p>今まで行ってきたワークの目的を理解する</p> <p>民族を学ぶという事には、発見があふれていること、民族を学ぶことが、世界を知るとききっかけとなるということに気付く</p>		

## 5：会場のセッティング



## 6：使用する教材

パワーポイント、パソコン、ペン、紙、模造紙、名札シール、付箋等、ベル、ストップウォッチ、プロジェクター、スクリーン、スピーカー

## 7：参考にした資料

ロバート チェンバース『参加型ワークショップ入門』明石書店、2004年

川田順造他『民族とは何か』岩波書店、1988年

アンヌ・ヴァリション『色 colors 民族と色の文化史』マール社、2009年

土屋晴仁『ニッポンのしきたり』IBCパブリッシング、2008年

綾部恒雄『タイ族 その社会と文化』弘文堂、1971年

田辺昌子 曾根広美「藍と暮らす人々トン族ミャオ族タイ族 太陽と精霊の布 瀧澤久仁子コレクション 中国東南アジアの少数民族の染織」マンガステイン、2004年

中川千草「月間みんぱく 七月号」「日用品で呪いを吹っ飛ばす」P8、国立民族学博物館、2018年

富浪貴志『国際理解に役立つ世界の音楽⑤ヨーロッパとロシアの音楽』ポプラ社、2003年

星川京児『知ってるようで知らない民族音楽おもしろ雑学事典』ヤマハミュージックメディア、2004年

「結婚学：タイ - 新旧結婚式比較」<<http://www.daito.ac.jp/gakubu/kokusai/asia21/mariage/thai1.html>>

「幸せの花束をタイから世界へ！バンコクの結婚式事情」<<https://www.abroaders.jp/client/article-detail/873>>

「メヘンディとは（ヘナタトゥー、ヘナアート）」<<http://www.mehndi.jp/whatismehndi.html>>

「ヘナトライバルタトゥーの歴史」<<http://www.apocar ipt.com/about/henna.html>>

「魔除け典メモⅡ：各地の民族衣装に見られる文様」 <<https://ameblo.jp/about-art/entry-12122210604.html>>

「新宿で「魔除け 一身にまとう祈るころ」展 - 民族の服飾に見られる多様な魔除けを紹介」  
<https://www.fashion-press.net/news/20549>

「クメール人の結婚式」 <<http://vovworld.vn/ja-JP/ベトナム民族/クメール人の結婚式-422520.vov>>

「シーサー！ 起源はスフィンクス？」 <<http://yanbaru-tour.net/recommend/theory/2607/>>

「【身近なものもある！】お守りと魔除けアイテムで縁起担ぎ♪」 <<http://engimono.net/articles/V3Q30>>

(ウェブページはすべて 2019 年 1 月 28 日アクセス)

## 8 : その他